



【先週 4月17日～4月23日の外食の出来事】

■出前館が最終赤字 228 億円、会計不備で特損も 9～2 月

2021年9月～22年2月期連結決算は最終損益が228億円の赤字(前年同期は97億円の赤字)だった。配達員の増加やシステム開発で売上原価が膨らみ、認知拡大に向けた広告宣伝費もかさんだ。

■串カツ田中、営業赤字 12～2 月

2021年12月～22年2月期連結決算は、営業損益が2億4800万円の赤字だった。1月以降の新型コロナウイルスの感染拡大やまん延防止等重点措置の適用で客数が大きく落ち込み、5四半期連続の赤字となった。

■ブロンコビリー、今期単独営業益9億円 客足戻る

2022年12月期通期の単独業績予想を修正し、営業損益が9億円の黒字になる見通しと発表した。売上高は前期比27%増の200億円の見通し。政府のコロナ規制の緩和で、ランチタイムを中心に客足が戻っているという。

■ワイズテーブル、前期も債務超過 2年連続

高級レストラン「XEX(ゼックス)」などを運営するワイズテーブルコーポレーションが18日発表した2022年2月期の連結決算は、最終損益が3億円の黒字(前の期は15億円の赤字)だった。

■リンガーハット、2022年2月期(2021年3月～2022年2月)の連結業績

2022年2月期 通期の連結業績は売上高339億2000万円(対前年同期比0.4%減)、営業損失14億6400万円(-)、経常利益19億6600万円(-)、親会社株主に帰属する当期純利益9億4300万円(-)であった。

■大庄、上半期(2021年9月～2022年2月)の連結業績

2022年8月期 第2四半期の連結業績は売上高166億500万円(対前年同期比2.6%減)、営業損失33億7500万円(-)、経常利益1億500万円(-)、親会社株主に帰属する四半期純利益2億600万円(-)であった。

■DD、助成金71億でも、2期連続赤字 債務超過は解消し、不動産業も

株式会社DDホールディングスの2022年3月通期決算はコロナによる助成金71億7千万円を営業外収入としたが、最終赤字3億54百万円。売上高193億53百万円、17.6%減。営業赤字73億32百万円。

■コメダHD、2022年2月期(2021年3月～2022年2月)の連結業績

2022年2月期 通期の連結業績は売上収益333億1700万円(対前年同期比15.5%増)、税引前利益71億7900万円(同33.2%増)、当期利益49億3400万円(同37.4%増)と増収増益を確保した。

■スシロー、養殖支援で新会社 魚の安定調達狙う

回転ずし「スシロー」は、養殖事業の新会社を設立。業界は漁獲量の減少や漁業の人手不足、魚の価格上昇などで将来の安定調達に不安を抱えている。安価で品質の良い魚を安定して仕入れるため、養殖事業に関わる。